

故人の縊死により



[故人の縊死により 下载链接1](#)

著者:山村 美紗

出版者:光文社

出版时间:2001-12

装帧:文庫

isbn:9784334732585

新聞の死亡広告に目をとめた検視官・江夏冬子は、そこに往年のスター女優・二条ゆり子の名前を見つけて驚いた。一年前、女警官役の勉強のためといって、冬子に話を聞きに来たことがあったからだ。そのときの印象と「故人の遺志により、供花の儀は、一切御辞退いたします」という記事に違和感を覚えた冬子は、彼女の死は首吊り自殺ではなく他殺ではないかと疑問を抱く。ゆり子の愛人と姪が怪しいとにらんだ冬子だったが、二人には事件当日、鉄壁のアリバイがあった…。京都を舞台に女検視官の華麗な推理を描く。

作者紹介:

山村 美紗(やまむら みさ、1934年8月25日 - 1996年9月5日)は、日本の小説家、推理作家。父・木村常信は京都大学名誉教授で、1926年京都帝国大学大学院法学研究科に進学後、朝鮮総督府京城法学専門学校長に任じられ終戦まで朝鮮に在住したため、山村も日本統治下の朝鮮・京城（現在のソウル）で生まれ育った。弟は政治学者の木村汎、長女は女優の山村紅葉、次女は山村真冬。夫は京都・東山高校の元数学教師で、退職後、70歳を過ぎてから画家となった山村巍（作品は亡妻の肖像画が主）。山村美紗は4人姉弟の長女であり、他に妹が2人いる。

国内におけるミステリー界の女王やトリックの女王と呼ばれた。日本のアガサ・クリスティとも讃えられた。

1957年、京都府立大学文学部国文科を卒業。その後1964年まで京都市立伏見中学校で国語教師として教職に就いていた。結婚後、1967年頃から創作を始め、1970年に「京城の死」で江戸川乱歩賞候補、翌年の1971年に「死体はクーラーが好き」が小説サンデー毎日新人賞候補となり、その後1974年に『マラッカの海に消えた』で作家としてメジャーデビューを果たした。

京都を舞台とした作品が多く、著作は多数。その作品の多くはテレビドラマ化されている。華道（池坊準華監）や茶道の師範免状、日本舞踊の名取（花柳流）を持ち、作品の舞台としても多く登場する。

推理作家の西村京太郎との出会いは、まだ売れていない頃の西村に山村がファンレターを送ったことが縁となった。西村にとって、それがはじめてもらったファンレターだったという。山村がハガキに「夏休みを利用して北海道を一人でドライブします」と書いたところ、西村が女子大生だと勘違いし、山村の住む京都まで自ら会いに出向いた事が発端で2人の交友が始まった。西村は当初、山村を独身と信じていたため彼女にプロポーズしたが、見事に断られたと後年告白している。それで初めて山村に（夫と）娘がいることが分かり、交流は（山村の夫を除いた）家族ぐるみにまで発展する。のちに山村は西村と共同で嘗て旅館であった建物を購入し、山村一家は本館に西村は別館に住んでいた。本館と別館は鍵付きの渡り廊下で繋がっており、山村宅側からは西村宅へ自由に行き来できたが、西村宅からは山村宅には自由に入出入りできない構造になっていたという。山村の急逝後、西村が彼女の未完の遺作「在原業平殺人事件」と「龍野武者行列殺人事件」の2作品を仕上げている。これは、生前、西村と山村との間でどちらかが先に死んだ場合、未完であった作品を完成させるという約束があった。西村は山村と自身との関係をモデルに私小説『女流作家』『華の棺』を発表しており、「山村美紗さんに本書を捧げる」と帯に記載された。また、長女で女優の山村紅葉は美紗の作品に加えて西村原作のドラマに多く出演している。

1996年9月5日、心不全のため急逝。62歳没、滞在中の東京都千代田区の帝国ホテルにて、執筆中の小説が広げられた机に突っ伏して、亡くなっていたという。

弟の木村汎は山村の没後、『北海道新聞』1996年10月25日付けのコラム「弟から見た素顔の山村美紗」を発表した。

1970年 - 「京城の死」で第16回江戸川乱歩賞候補。

1971年 - 「死体はクーラーが好き」で小説サンデー毎日新人賞候補。

1972年 - 「死の立体交差」で第18回江戸川乱歩賞候補。

1973年 - 「ゆらぐ海溝」で第19回江戸川和乱歩賞候補。

1983年 - 『消えた相続人』で第3回日本文芸大賞を受賞。

1992年 - 第10回京都府文化賞功劳賞受賞、京都府あけぼの賞を受賞。

目录: 故人の縊死により
不自然な溺死体
テレホンカード殺人事件
名神高速殺人事件
告発の手紙
．．．．． ([收起](#))

[故人の縊死により_下载链接1](#)

标签

山村美紗

评论

山村著作No.115：女法医江夏冬子系列短篇集，23诡计巧妙，整体完成度也比令人满意。【故人の縊死により】：过气女演员疑似自缢而亡，警方需要破解嫌疑人的电话/相片不在场证明，总体较平淡，但是标题一语双关；【不自然な溺死体】：日本画家的老来子保津川中溺亡，死亡留言看似难以理解但其实谜底非常朴素简单，凶手也有一定意外性；【テレホンカード殺人事件】：遗落在命案现场的电话卡是重要破案线索，本作出现了美纱最擅长的电话不在场证明诡计；【名神高速殺人事件】：好友在名神高速公路上车祸而亡，冬子通过蛛丝马迹擒获真凶；【告発の手紙】：一份恳请冬子寻找失踪好友的书信牵扯出人妻的婚外情，这篇真犯人很意外很突兀，但是结局对可悲的女人心刻画得非常丝丝入扣。

[故人の縊死により_下载链接1](#)

书评

故人の縊死により 下载链接1